

平成 30 年度 留萌地区の巻

事務局 留萌市立緑丘小学校

留萌管内小中学校長会は、管内 27 校(小学校 16 校, 中学校 10 校, 併置校 1 校)の校長で組織している。今年度は、新採用の校長 1 名を迎えて 4 月 11 日に総会を開催し、新たな組織・体制で活動をスタートした。

I 本年度の活動方針

新学習指導要領の総則等が先行実施され、留萌管内の各学校においても、その趣旨を活かし、次代を展望した教育課程の編成・実施が始まっている。

教育課程の編成に責任をもつ校長は、自校の子どもたちが将来をたくましく、しなやかに生き抜くことができる力を身に付けさせるため、社会の動向をとらえ、そこで求められる教育の姿を見通すとともに、子どもたちが生きる地域の将来像も視野に入れながら、自校の教育課程を編成し、実践での具体化と実施後の的確な評価によって、よりよい教育活動をつくり上げていくことに全精力を注がなくてはならない。

また、学力や体力の向上、いじめや不登校の防止に向けた取組。道徳の教科化、小学校英語、小中連携・一貫教育、さらにはCSの導入など、様々な施策を適切に実施することが求められている。

留萌管内校長会では、それぞれの学校の教育目標の実現に向けて、会員相互の連携を図る中で、各校長がリーダーシップを発揮して課題を解決し、管内教育の充実を目指している。

「自立と創造」と「共生と躍進」が 2 本柱の「留萌教育のめざす姿」を実現するため、校長会の使命を確認し、連帯感を深めて管内教育の発展に寄与していかなければならない。

管内校長会の指針である「和心一統」すなわち、個々の信念を堅持しながらも、親和の心をもって一つにまとまり、真実を求めるという精神に立ち返り、志を高く掲げ、明日を生きる留



留萌市「黄金岬の夕陽」と
留萌の港と鉄道の基礎を築いた五十嵐億太郎像

萌の子どもたちをしっかりと育てていく覚悟をもち、次に示す活動方針での適正な校長会運営を推進していく。

- 1 校長の使命と責任を自覚し、自らの識見を高める研修の充実と情報の共有を図る。
- 2 会員相互の連携を密にして信頼関係を深め、組織の強化と活動の効率化を図る。
- 3 教育関係機関・団体及び地域社会との連携を強化し、諸問題の解決を図る。

II 活動の重点

1 教育改革を具現化する学校経営

- ①創意ある教育課程の編成、実施、評価、改善
- ②信頼を基盤とした社会に開かれた学校経営の実現
- ③いじめや不登校等の生徒指導上の諸問題への対応
- ④児童生徒の安全確保の徹底と危機管理体制の充実
- ⑤法令遵守の徹底と服務規律の保持

2 研修活動の充実と効率的な環流

- ①留萌管内校長会教育研究協議会の開催
- ②留萌地区教育経営研究会の開催
- ③全連小函館大会、道中十勝大会、全日中鳥取(米子)大会への参加

3 組織の強化と活動の効率化

- ①理事研修会による活動の充実と市町村校長会との連携強化
- ②事務局と各部及び市町村校長会との連携
- ③教育の諸課題に対する的確な情報提供
- ④全道(国)校長会、管内教育関係機関との連携

4 教職員の待遇改善

- ①管理職手当，給与体系の改善
- ②校長の退職手当及び職責に見合う退職時の処遇改善
- ③再任用の拡大と再就職の促進

Ⅲ 各部の活動方針

1 研究部

- ①研究テーマに基づく研究推進
 - ◎学校力を高めるために戦略的に思考するカリキュラム・マネジメントの推進
 - ～課題をとらえ，解決に導き，よりよい学校づくりを進める校長の在り方～
- ②全連小・道小教育研究函館大会第7分科会での提言に向けて設置した「提言プロジェクト委員会」での発表資料作成。
- ③31年度道中研究大会空知大会での提言に向けて設置した「提言プロジェクト委員会」での発表資料作成。
- ④研究集録第49号を発刊し，研究の成果と校長会足跡の記録化。
- ⑤道小・道中研究部，各市町村研究部及び関係機関との連携強化。
- ⑥留萌管内研究団体連絡協議会の事務局担当として，管内各種研究会の連絡調整。

2 組織部

管内校長会の運営方針と活動重点を受け，学校の諸問題を解決するために，会員相互の意識高揚と組織の強化及び福利厚生の実現に努め，管内教育の充実・発展に寄与する。

- ① 管内校長会事務局との連携を密にしながら，基礎資料を整理・活用して，組織機能の効率化に努める。
- ②教育実践の効率化を図るために，教育条件の整備や会員の福利厚生に関する実態把握に取り組む。
- ③教育関係諸団体との積極的な連携を図り，各種の事業に協力する。
- ④組織・法制に関する研修を実施し，学校における指導と管理の調和を図る。

- ⑤課題解決に向け，道小・道中・各機関との連携を密にして，迅速かつ適切な対応に努める。

3 広報部

管内校長会の運営方針並びに活動の重点を受けて，効果的な活動を推進して会員相互の交流を図り，校長会組織に対する会員の意識の高揚と活動の活性化に努める。

- ① 年間4号の会報「留萌」を発行し，会員間の情報交換・交流を密にする。
- ② 市町村校長会広報部や道小・道中情報部との連携強化に努める。
- ③ 広報活動の充実に努め，管内校長会の取組や活動状況の啓発に努める。

Ⅳ 当面する課題

会員数の減少等の理由から校長会組織の在り方を検討し，昨年度から会の組織を改編した。今後3年間で半数の校長が退職するため，新たな組織での会運営を工夫して行い，少人数の利点を活かして有効に機能させていくことが必要である。

また，管内の教職員数も減少している中で，次代を担うミドルリーダーや管理職志望者の育成など，後継者を育てるための校長会組織による一体的な取組の在り方を検討し，実施していくことも課題である。

Ⅴ 役員

会 長	小澤 洋一 (港南中)
副 会 長	外山 一正 (留萌中)
監査委員長	長谷川 敏之 (留萌小)
監 査 委 員	長谷川 博 (増毛中)
事 務 局 長	東 公康 (東光小)
事務局次長	富田 正夫 (羽幌中)
会 計	前田 雄 (緑丘小)
研 究 部 長	安田 善見 (遠別小)
組 織 部 長	永沼 慧久男 (羽幌小)
広 報 部 長	前田 郁美 (小平小)